

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立新見高等学校南校地		
実践者	岡 利英	実践日	令和3年9月22日
実践場面 (教科・科目、学校行事)	総合的な探究の時間 「仰高タイム (GT)」		
対象生徒(学年等)	普通科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	【機器】Apple TV 【アプリ】Jamboard		
実践の概要	マインドマップ「新見のいいところ」をJamboardを活用して実施		
実践の内容			
<p>(1) 背景</p> <p>本校における総合的な探究の時間「仰高タイム (GT)」では、SDGsを切り口として新見地域をよりよくする方策について議論を重ね、最終的に新見市議会へ陳情する活動に取り組んでいる。</p> <p>1年生では、議論や発表に必要なスキルの習得を目指して、ディベート・小論文の学習を行う。</p> <p>(2) 取り組み</p> <p>仰高タイム (GT) 1回目ということで、前半はGT全体のオリエンテーション、後半は考えを深める際に有効なシンキングツールの体験を行った。</p> <p>シンキングツール「マインドマップ」の体験について、当初は、蔓延防止重点措置発令中にもない紙を用いてペアで実施する予定であった。しかし、多人数で行った方がその効果や意義について理解しやすいと考え、Jamboardによるグループワークへと切り替えた。</p> <p>(ア) 担任による事前準備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① クラスを5～6人のグループに分け、グループの数だけフレームを作成する。 (※ 一つのフレームに参加できるのは25人までであり、多くなると書き込みに遅延が生じると聞いたので上記の人数設定にした。) ② 各フレームをグループメンバーで共有する。 ③ 今回のテーマである「新見のいいところ」を付箋に入力し、フレーム中央に貼りつける。 <p>(イ) 生徒の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「新見のいいところ」を個人で考え、A4用紙に書き出す。【5分間】 ② ①で書き出したものの中から一つ選んでJamboardの付箋に入力し、「新見のいいところ」のまわりに貼りつける。 ③ 貼り付けられた付箋を起点として、内容をどんどん膨らませていく。【15分間】 <p>(ウ) まとめ・振り返り</p> <p>各フレームは担任が主催しているので、担任のiPad画面をApple TVで投影し、各グループのマインドマップを全体で共有した。</p> <p>(エ) 注意点</p> <p>共有しているフレームに生徒が勝手な書き込みをしないように、授業後はリンクを切る必要がある。</p>			
参考となるHP等			